

令和4年度  
第1回 鶴見区民アンケート  
報告書

大阪市鶴見区役所

# 目次

アンケート概要 .....	1
ご回答いただいた方の基本事項について .....	2
1 . 鶴見区の魅力などについて .....	5
問 1 鶴見区では、区の歴史や魅力の発見・発信や賑わいの創出を図るため、幅広い世代のみなさまに区への愛着を深めていただく事業に取り組んでいます。あなたは、次の「イベント・事業の例」に掲げる取組み全般について、魅力ある取組みだと感じますか。 .....	5
問 2 鶴見区では SDG s の周知・広報に取り組んでいます。家庭でできる身近な SDG s もありますが、あなたは、日頃から意識して SDG s に取り組んでいますか。 .....	6
問 3 (問 2 で「2 意識して取り組んでいない」と回答された方へ) SDG s に意識して取り組んでいない理由は、なぜですか。 .....	7
問 4 「2025年日本国際博覧会(以下「大阪・関西万博」という。)」が、大阪市の夢洲で令和7年4月13日～10月13日まで開催されます。あなたは、「大阪・関西万博」に関心がありますか。(1つ選んでください) .....	9
問 5 (問 4 で「2 関心がない」と回答された方へ) 「大阪・関西万博」に関心がない理由はなんですか。 .....	10
問 6 あなたは、鶴見区が花や緑あふれるまちと感じますか。 .....	12
2 . 地域福祉の推進について .....	14
問 7 災害時に限らず日常生活の中で「お元気ですか?」や「何かお困りですか?」など、住民同士の「声かけ」「見守り」「支え合い」が行われていると感じますか。(1つ選んでください) .....	14
問 8 あなたは、現在ボランティア活動をしていますか。または、ボランティア活動してみたいと思っていますか。 .....	16
問 9 鶴見区では、電球の交換や庭の草むしり、外出時の付き添いなど、介護保険や障がい福祉サービスでは対象外とされている、日常生活のちょっとした困り事を地域住民同士の支え合いで補う、有償ボランティア制度「まちの支えあい活動通称『あいまち』」を実施しています。あなたは『あいまち』を知っていますか。 .....	17

- 問 10 (問9で「1 知っている」「2 聞いたことがある」と回答された方へ) あなたは、「あいまち」に参加してボランティア活動をしようと思いませんか。(1つ選んでください)..... 18
- 問 11 鶴見区では、認知症の方や家族をサポートするため「わたしのケアノート( )」の配布や「障がい者とその家族を対象にした専門相談会」などの取組みを実施しています。また、身近な地域でのつながりの大切さを実感し、地域の課題を地域全体で解決するために、地域では「つなげ隊」や「あいまち」により高齢者や障がいのある方の見守り活動が行われています。あなたは、地域で支援を必要としている人に必要な支援が行き届く地域社会になっていると感じますか。..... 19

### 3 . 子育てについて ..... 20

- 問 12 鶴見区は、子育てしやすいまちと感じますか。..... 20
- 問 13 あなたの世帯に現在、中学生以下のお子さまはいらっしゃいますか。..... 22
- 問 14 (問13で「1 いる」と回答された方へ) 区役所、子育て支援センター、子ども・子育てプラザ、幼稚園、保育所などで子育て相談ができることを知っていますか。..... 23
- 問 15 (問13で「1 いる」と回答された方へ) あなたは、子育てに関する必要な情報を入手できていると感じていますか。..... 24
- 問 16 (問13で「1 いる」と回答された方へ) 鶴見区では、区広報紙「広報つるみ」やSNS(フェイスブック、ツイッター)を活用し、子育てに関するさまざまな情報発信を行っています。あなたは子育てに関する情報で充実してほしいものは何ですか。..... 25

### 4 . まなびを通じたつながりづくりについて..... 26

- 問 17 鶴見区では、「人権啓発推進セミナー」「ヒューマンシアター」「校下別人権学習会」「人権啓発イベント」「人材育成講座」「街頭啓発」などの人権教育・啓発の取組みを行っています。あなたはこれらの取組みに参加したり、地域で人権学習の開催や啓発活動に関わったことがありますか。(1つ選んでください)..... 26
- 問 18 あなたは鶴見区で実施している取組みを通して、「一人ひとりが互いに認め合い、受け容れ、ともに生きる」人権尊重のまちづくりが進んでいると感じますか。(1つ選んでください)..... 27
- 問 19 (問18で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ) 人権尊重のまちづくりが進んでいると感じない理由は何ですか。(いくつでも選んでください) . 29
- 問 20 鶴見区では、「生涯学習ルーム」「生涯学習ルームフェスティバル」「生涯学習セミナー」「おもてなし茶会」「生涯学習一日体験 学び舎つるみ」「家庭教育支援講座」「はぐみネ

	ット」などの生涯学習の取組みを行っています。あなたはこれらの取組みや、地域における子どもの健全育成のボランティアなどに参加したことがありますか。 .....	30
問 21	あなたは、生涯学習の取組みや地域ボランティア活動などによるまなびを通して、人との関わりやつながりができると感じますか。（1つ選んでください） .....	31
問 22	（問 21 で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ）まなびを通して人との関わりやつながりができると感じない理由は何ですか。 .....	33
5 . 鶴見区全般について .....		34
問 23	今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。 .....	34
調査票 .....		36

## アンケート概要

### (1) 第1回区民アンケートの目的

区民の皆さまの多様なニーズを把握するとともに、区の施策や事業など、今後の区政運営の参考資料として活用することを目的として実施しました。

### (2) 区民アンケートの実施状況

実施期間：令和4年11月18日（金）～12月1日（木）

実施方法：調査票を郵送し、同封の返信用封筒による回答又はインターネットによる回答により実施

対象者：無作為抽出した18歳以上の鶴見区民1,000名

回答者数：472名

宛先不明返戻分：7件

回答率：47.5%

### (3) 報告書に関する留意点について

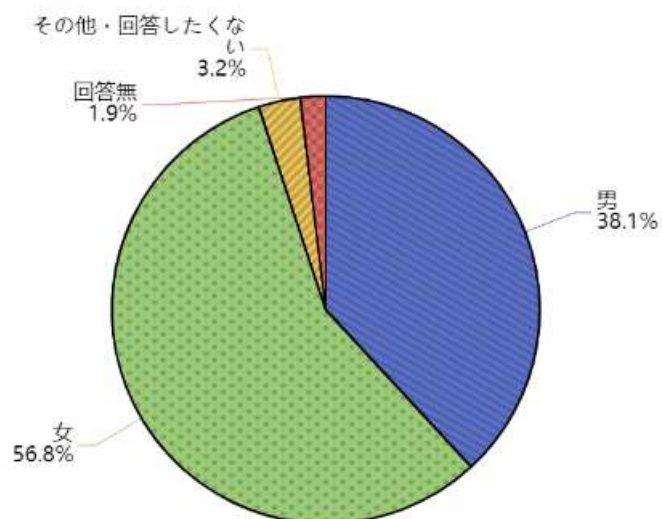
回答構成比（％）は、設問ごとの回答者数を100％として、各実数をもとに算出した数値の少数第2位を四捨五入しています。そのため、構成比の合計が100％と一致しない場合があります。

## ご回答いただいた方の基本事項について

### 【性別】

男	180名	38.1%
女	268名	56.8%
その他・回答したくない	15名	3.2%

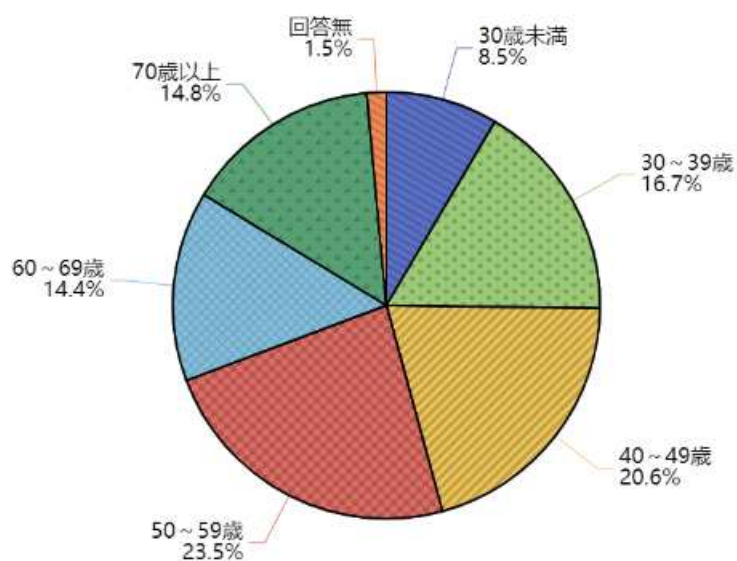
回答無	9名	1.9%
合計	472名	100%



### 【年齢】

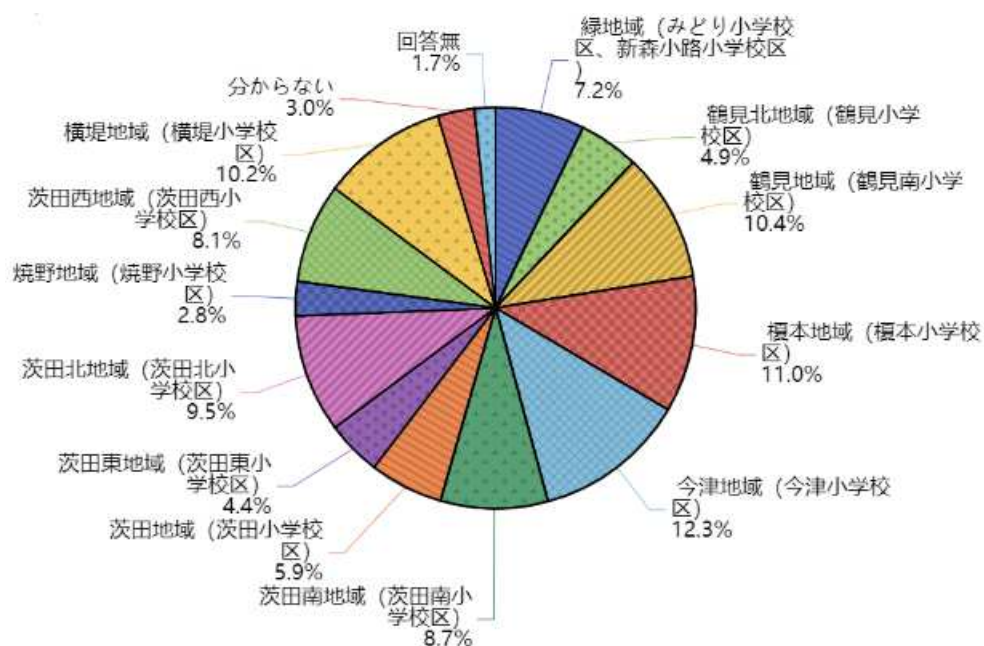
30歳未満	40名	8.5%
30～39歳	79名	16.7%
40～49歳	97名	20.6%
50～59歳	111名	23.5%

60～69歳	68名	14.4%
70歳以上	70名	14.8%
回答無	7名	1.5%
合計	472名	100%



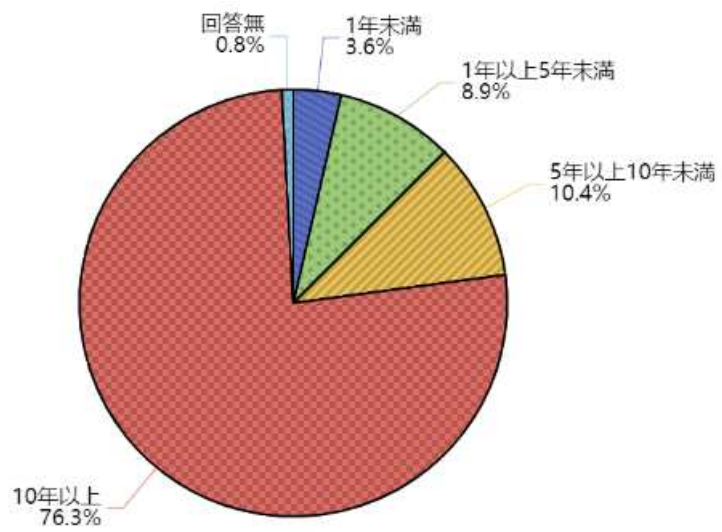
【地域】

緑地域（みどり小学校区、新森小路小学校区）	34名	7.2%
鶴見北地域（鶴見小学校区）	23名	4.9%
鶴見地域（鶴見南小学校区）	49名	10.4%
榎本地域（榎本小学校区）	52名	11.0%
今津地域（今津小学校区）	58名	12.3%
茨田南地域（茨田南小学校区）	41名	8.7%
茨田地域（茨田小学校区）	28名	5.9%
茨田東地域（茨田東小学校区）	21名	4.4%
茨田北地域（茨田北小学校区）	45名	9.5%
焼野地域（焼野小学校区）	13名	2.8%
茨田西地域（茨田西小学校区）	38名	8.1%
横堤地域（横堤小学校区）	48名	10.2%
分からない	14名	3.0%
回答無	8名	1.7%
合計	472名	100%



【居住年数】

1 年未満	17 名	3.6%
1 年以上 5 年未満	42 名	8.9%
5 年以上 10 年未満	49 名	10.4%
10 年以上	360 名	76.3%
回答無	4 名	0.8%
合計	472 名	100%

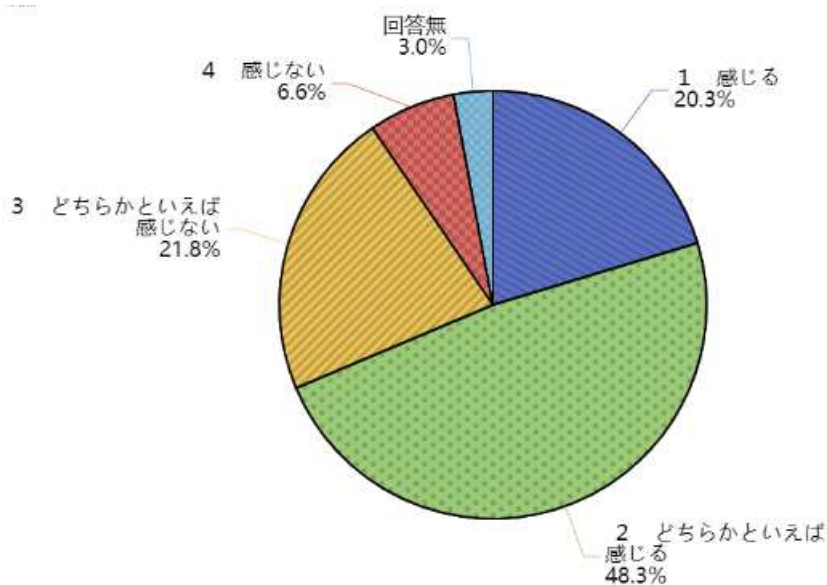




## 1. 鶴見区の魅力などについて

問1 鶴見区では、区の歴史や魅力の発見・発信や賑わいの創出を図るため、幅広い世代のみなさまに区への愛着を深めていただく事業に取り組んでいます。あなたは、次の「イベント・事業の例」に掲げる取組み全般について、魅力ある取組みだと感じますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 感じる	96	20.3%
2 どちらかといえば感じる	228	48.3%
3 どちらかといえば感じない	103	21.8%
4 感じない	31	6.6%
回答無	14	3.0%
合計	472	100%



【全体的傾向】 「感じる」（20.3%）、「どちらかといえば感じる」（48.3%）を合わせると68.6%の方が魅力ある取組みであると感じている。

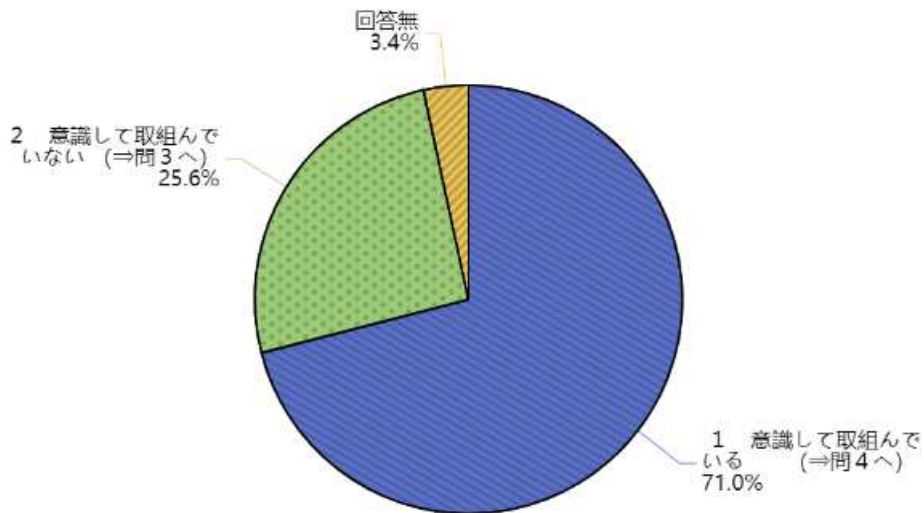
【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「50歳代」が最も多く、77.5%となっている。

【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「10年以上」が最も多く、69.7%となっている。

【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「鶴見北地域」が最も多く、82.6%となっている。

問2 鶴見区ではSDGsの周知・広報に取り組んでいます。家庭でできる身近なSDGsもありますが、あなたは、日頃から意識してSDGsに取り組んでいますか。  
(1つ選んでください)

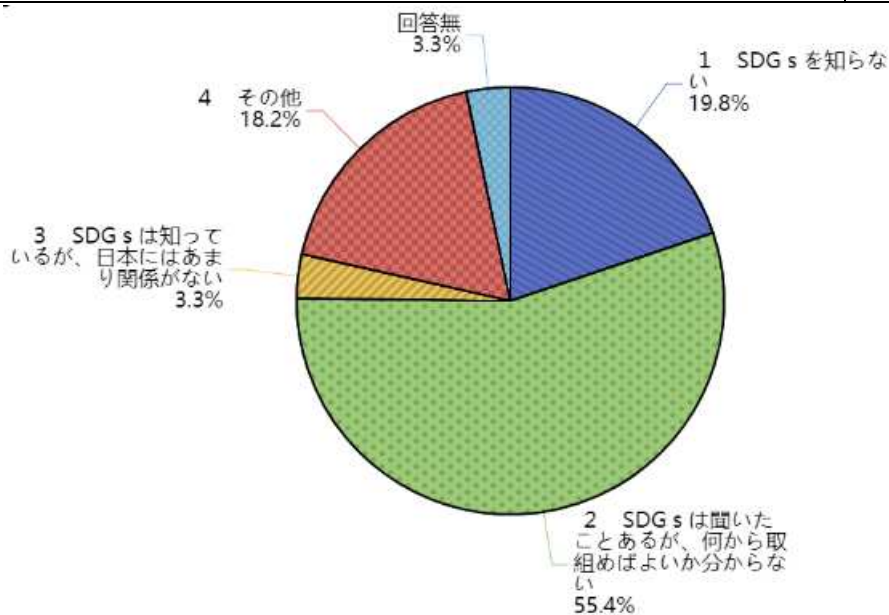
選択肢	件数	割合
1 意識して取り組んでいる (問4へ)	335	71.0%
2 意識して取り組んでいない (問3へ)	121	25.6%
回答無	16	3.4%
合計	472	100%



- 【全体的傾向】 「意識して取り組んでいる」(71.0%)と、7割以上の方が日頃から意識してSDGsに取り組んでいる。
- 【年齢別傾向】 「意識して取り組んでいる」と回答した割合を年齢別にみると、「50歳代」が最も多く、86.5%となっている。
- 【居住年数別傾向】 「意識して取り組んでいる」と回答した割合を居住年数別にみると、「1年未満」が最も多く、76.5%となっている。
- 【地域別傾向】 「意識して取り組んでいる」と回答した割合を地域別にみると、「榎本地区」が最も多く、84.6%となっている。

問3 (問2で「2 意識して取組んでいない」と回答された方へ)  
SDGsに意識して取組んでいない理由は、なぜですか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 SDGsを知らない	24	19.8%
2 SDGsは聞いたことあるが、何から取組めばよいか分からない	67	55.4%
3 SDGsは知っているが、日本にはあまり関係がない	4	3.3%
4 その他	22	18.2%
回答無	4	3.3%
合計	121	100%



【全体的傾向】 「SDGsは聞いたことあるが、何から取組めばよいか分からない」と回答した割合が最も多く、55.4%となっている。

【年齢別傾向】 「70歳代」では「SDGsを知らない」と回答した割合が最も多く、37.5%となっており、その他の年代では「SDGsは聞いたことあるが、何から取組めばよいか分からない」が最も多い。

【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「SDGsは聞いたことあるが、何から取組めばよいか分からない」が最も多い。

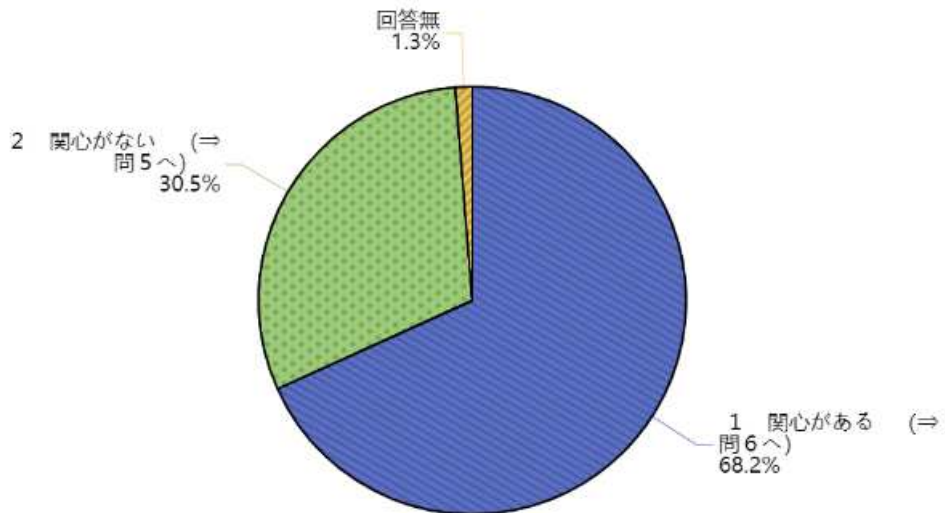
「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・面倒
- ・信用できない、胡散臭い。
- ・SDGsは効果がないと思う。
- ・SDGsに関係なく意識せずに取り組んでいる。

- ・常識的にマナーに関する部分は取り組むが、金銭的負担の大きいものは取り組めない。
- ・新しい消費活動に結びつけるものが多く、本気度が感じられない。

問4 「2025年日本国際博覧会（以下「大阪・関西万博」という。）」が、大阪市の夢洲で令和7年4月13日～10月13日まで開催されます。  
あなたは、「大阪・関西万博」に関心がありますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 関心がある（問6へ）	322	68.2%
2 関心がない（問5へ）	144	30.5%
回答無	6	1.3%
合計	472	100%



【全体的傾向】 「関心がある」（68.2%）と、約7割の方が「大阪・関西万博」に関心がある。

【年齢別傾向】 「関心がある」と回答した割合を年齢別にみると、「50歳代」が最も多く、74.8%となっている。

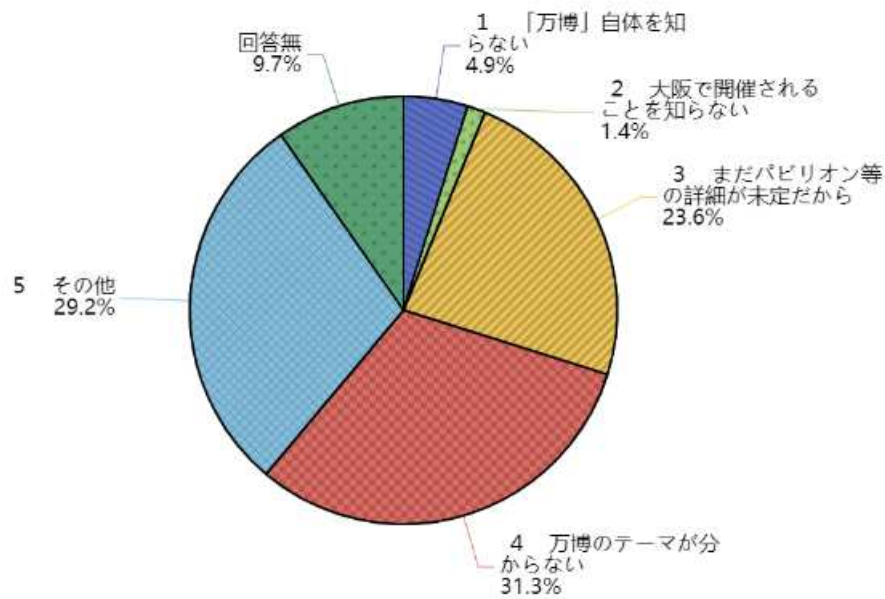
【居住年数別傾向】 「関心がある」と回答した割合を居住年数別にみると、「5年以上10年未満」が最も多く、69.4%となっている。

【地域別傾向】 「関心がある」と回答した割合を地域別にみると、「榎本地域」が最も多く、76.9%となっている。

問5 (問4で「2 関心がない」と回答された方へ)

「大阪・関西万博」に関心がない理由はなんですか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 「万博」自体を知らない	7	4.9%
2 大阪で開催されることを知らない	2	1.4%
3 まだパビリオン等の詳細が未定だから	34	23.6%
4 万博のテーマが分からない	45	31.3%
5 その他	42	29.2%
回答無	14	9.7%
合計	144	100%



【全体的傾向】 「万博のテーマが分からない」と回答した割合が最も多く、31.3%となっている。

【年齢別傾向】 すべての年代で「万博のテーマが分からない」又は「まだパビリオン等の詳細が未定だから」と回答した割合が多い。  
「万博自体を知らない」と回答した割合では、「30歳未満」が16.7%、「70歳以上」が13.0%と10%を超えている。

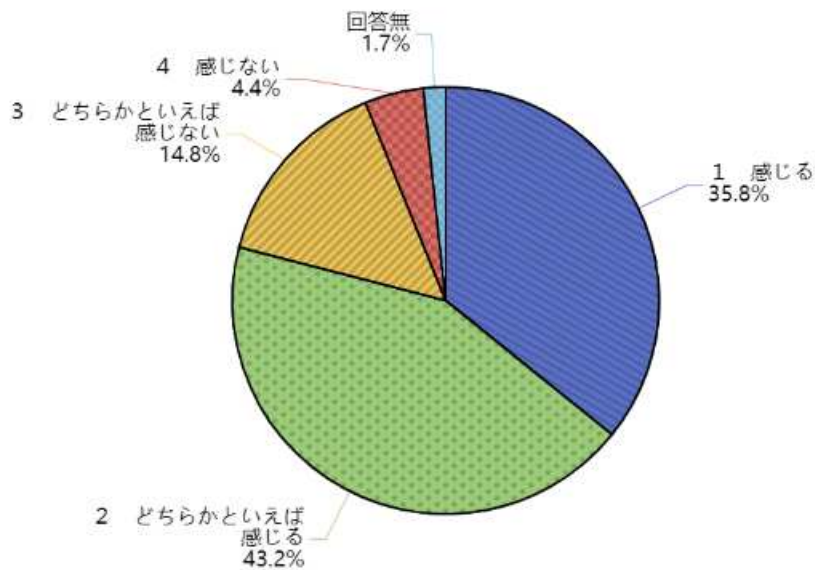
【居住年数別傾向】 いずれも「万博のテーマが分からない」又は「まだパビリオン等の詳細が未定だから」と回答した割合が多い。

「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

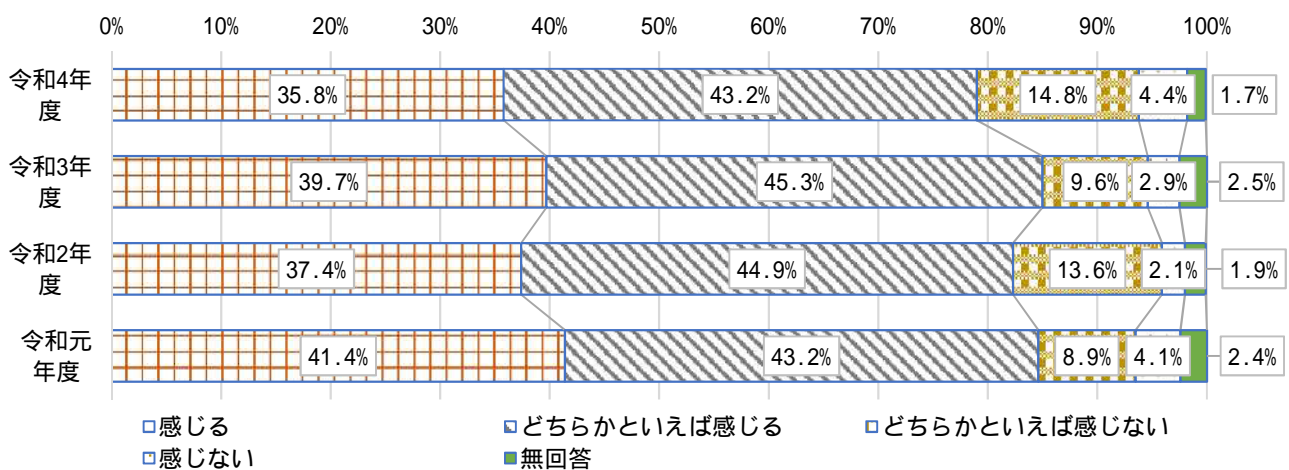
- ・関心がない
- ・開催する意図がわからない
- ・税金の無駄
- ・魅力を感じない
- ・人混みに入りたくない
- ・交通の便が不便

問6 あなたは、鶴見区が花や緑あふれるまちと感じますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 感じる	169	35.8%
2 どちらかといえば感じる	204	43.2%
3 どちらかといえば感じない	70	14.8%
4 感じない	21	4.4%
回答無	8	1.7%
合計	472	100%



【前回等調査との比較】



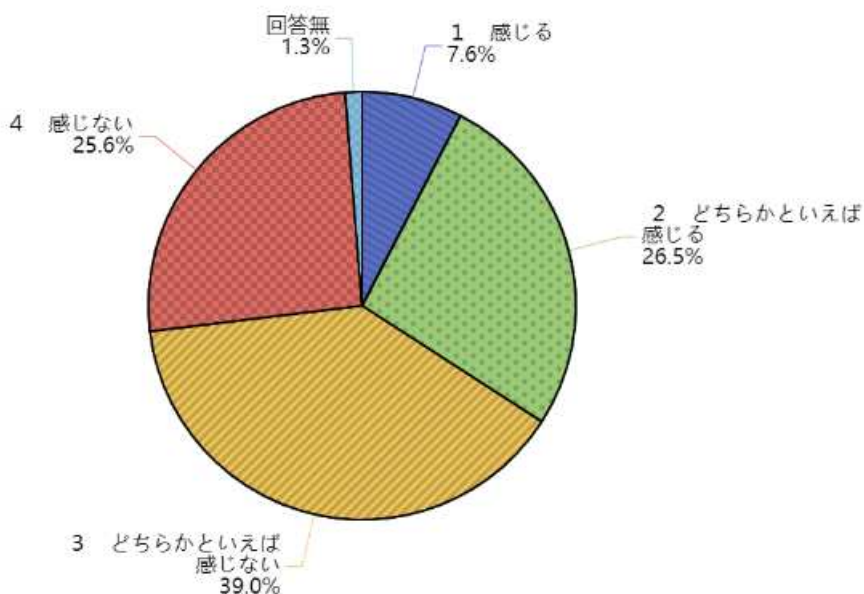


- 【全体的傾向】 「感じる」(35.8%)、「どちらかといえば感じる」(43.2%)を合わせると79.0%の方が花や緑あふれるまちであると感じている。
- 【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「30歳代」が最も多く、92.4%となっている。最も少ないのは「70歳以上」で67.2%となっている。
- 【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「1年以上5年未満」が最も多く、97.7%となっている。最も少ないのは「10年以上」で76.4%となっている。
- 【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「緑地域」が最も多く、97.0%となっている。

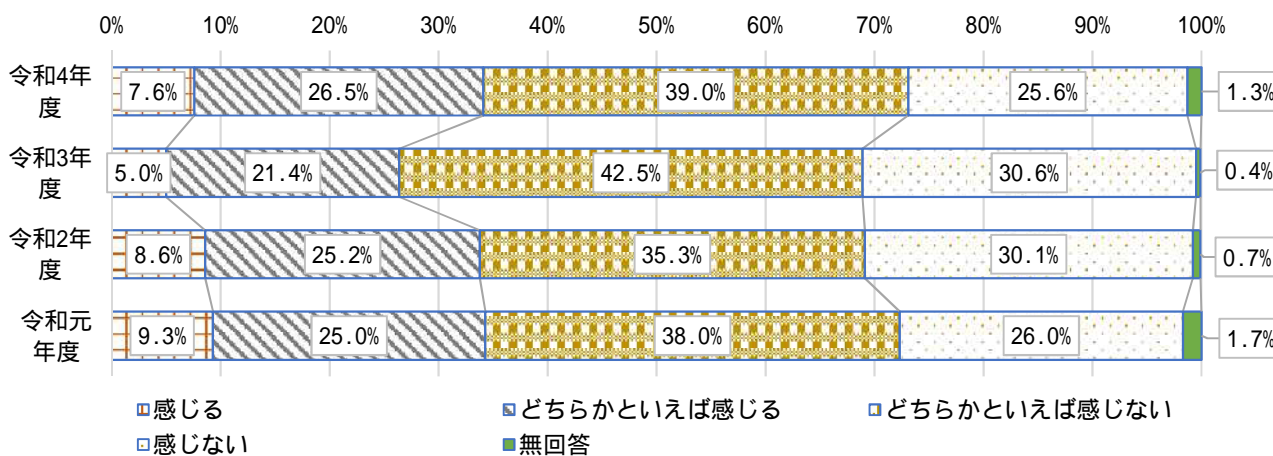
## 2. 地域福祉の推進について

問7 災害時に限らず日常生活の中で「お元気ですか？」や「何かお困りですか？」など、住民同士の「声かけ」「見守り」「支え合い」が行われていると感じますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 感じる	36	7.6%
2 どちらかといえば感じる	125	26.5%
3 どちらかといえば感じない	184	39.0%
4 感じない	121	25.6%
回答無	6	1.3%
合計	472	100%



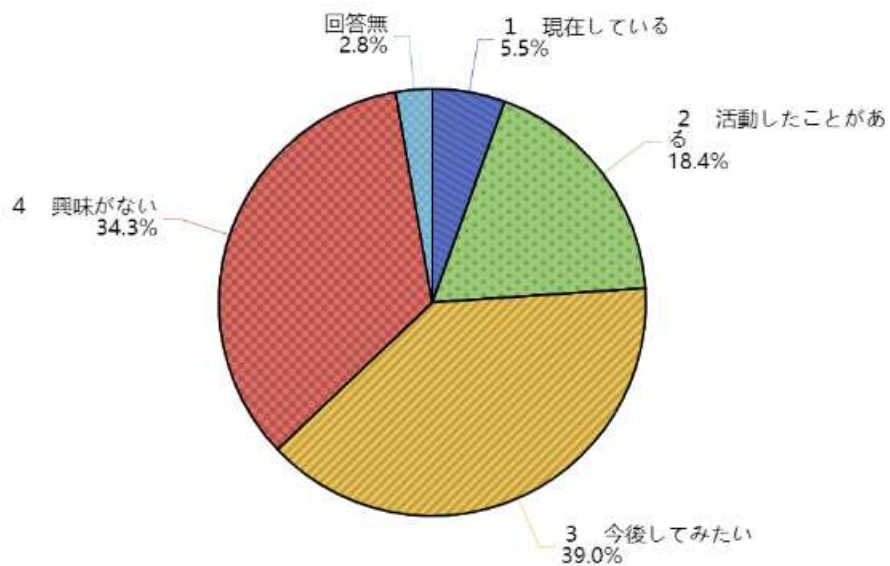
### 【前回等調査との比較】



- 【全体的傾向】 「感じる」(7.6%)、「どちらかといえば感じる」(26.5%)を合わせると34.1%の方が住民同士の「声かけ」「見守り」「支え合い」が行われていると感じている。
- 【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「70歳以上」が最も多く、50.0%となっている。
- 【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「1年未満」が最も多く、47.1%となっている。
- 【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「茨田南地域」が最も多く、53.7%となっている。

問 8 あなたは、現在ボランティア活動をしていますか。または、ボランティア活動をしてみたいと思っていますか。  
( 1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 現在している	26	5.5%
2 活動したことがある	87	18.4%
3 今後してみたい	184	39.0%
4 興味がない	162	34.3%
回答無	13	2.8%
合計	472	100%



【全体的傾向】 「現在している」( 5.5% )、「活動したことがある」( 18.4% ) を合わせると 23.9% の方がボランティア活動の経験がある。

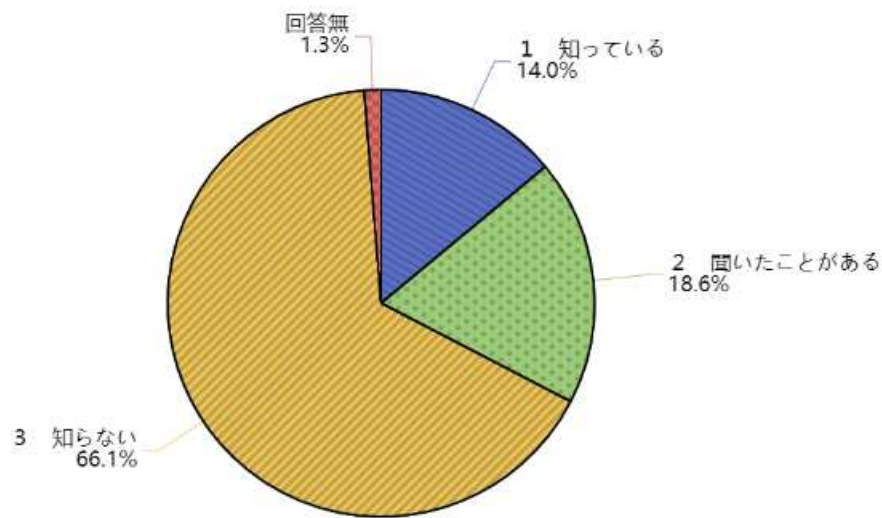
【年齢別傾向】 「現在している」又は「活動したことがある」と回答した割合を年齢別にみると、「70歳以上」が最も多く、32.9%となっている。

【居住年数別傾向】 「現在している」又は「活動したことがある」と回答した割合を居住年数別にみると、「10年以上」が最も多く、25.0%となっている。

【地域別傾向】 「現在している」又は「活動したことがある」と回答した割合を地域別にみると、「緑地域」が最も多く、38.2%となっている。

問9 鶴見区では、電球の交換や庭の草むしり、外出時の付き添いなど、介護保険や障がい福祉サービスでは対象外とされている、日常生活のちょっとした困り事を地域住民同士の支え合いで補う、有償ボランティア制度「まちの支えあい活動通称『あいまち』」を実施しています。  
あなたは『あいまち』を知っていますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 知っている	66	14.0%
2 聞いたことがある	88	18.6%
3 知らない	312	66.1%
回答無	6	1.3%
合計	472	100%



【全体的傾向】 「知らない」と回答した割合が最も多く、66.1%となっている。

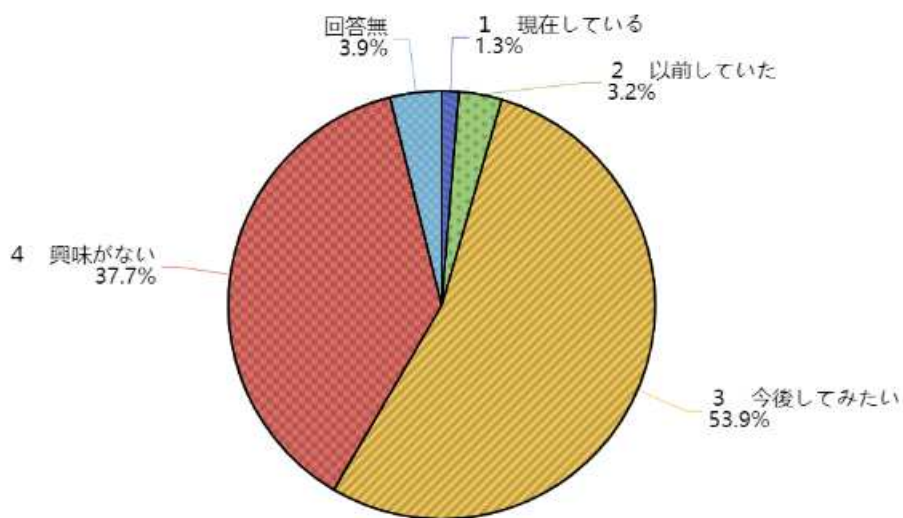
【年齢別傾向】 全ての年代で「知らない」と回答した割合が最も多く、「30歳未満」は82.5%と最も多い。

【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「知らない」と回答した割合が最も多く、「1年未満」は88.2%と最も多い。

【地域別傾向】 全ての地域で「知らない」と回答した割合が最も多く、「焼野地域」は76.9%と最も多い。

問 10 (問 9 で「1 知っている」「2 聞いたことがある」と回答された方へ)  
 あなたは、「あいまち」に参加してボランティア活動をしようと思いますか。  
 (1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 現在している	2	1.3%
2 以前していた	5	3.2%
3 今後してみたい	83	53.9%
4 興味がない	58	37.7%
回答無	6	3.9%
合計	154	100%



【全体的傾向】 「今後してみたい」と回答した割合が最も多く、53.9%となっている。

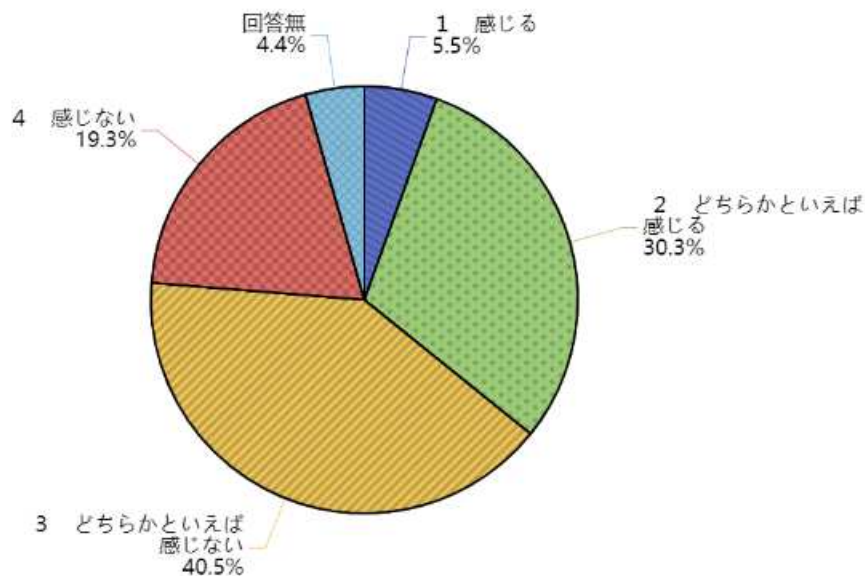
【年齢別傾向】 「70歳以上」では「興味がない」と回答した割合が最も多く、46.2%。  
 それ以外の年代では「今後してみたい」と回答した割合が最も多い。

【居住年数別傾向】 「10年以上」では「今後してみたい」が53.5%、「興味がない」が36.4%となっている。

問 11 鶴見区では、認知症の方や家族をサポートするため「わたしのケアノート（ ）」の配布や「障がい者とその家族を対象にした専門相談会」などの取組みを実施しています。また、身近な地域でのつながりの大切さを実感し、地域の課題を地域全体で解決するために、地域では「つなげ隊」や「あいまち」により高齢者や障がいのある方の見守り活動が行われています。

あなたは、地域で支援を必要としている人に必要な支援が行き届く地域社会になっていると感じますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 感じる	26	5.5%
2 どちらかといえば感じる	143	30.3%
3 どちらかといえば感じない	191	40.5%
4 感じない	91	19.3%
回答無	21	4.4%
合計	472	100%



【全体的傾向】 「感じる」（5.5%）、「どちらかといえば感じる」（30.3%）を合わせると35.8%の方が地域で支援を必要としている人に必要な支援が行き届く地域社会になっていると感じている。

【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「50歳代」が最も多く、44.1%となっている。最も少ないのは「40歳代」で26.8%となっている。

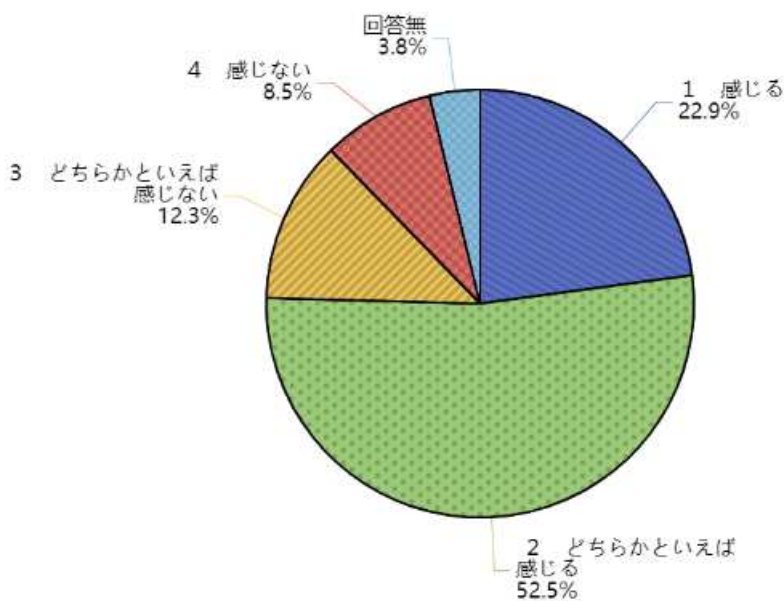
【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「1年未満」が最も多く、47.1%となっている。最も少ないのは「1年以上5年未満」で31.0%となっている。

【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「茨田西地域」が最も多く、52.6%となっている。

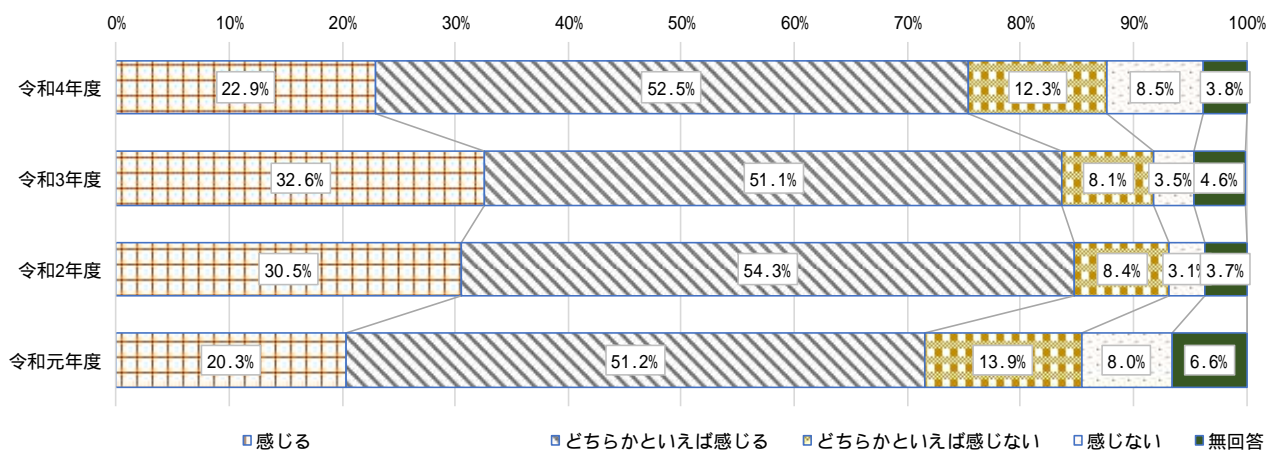
### 3. 子育てについて

問 12 鶴見区は、子育てしやすいまちと感じますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 感じる	108	22.9%
2 どちらかといえば感じる	248	52.5%
3 どちらかといえば感じない	58	12.3%
4 感じない	40	8.5%
回答無	18	3.8%
合計	472	100%



#### 【前回等調査との比較】

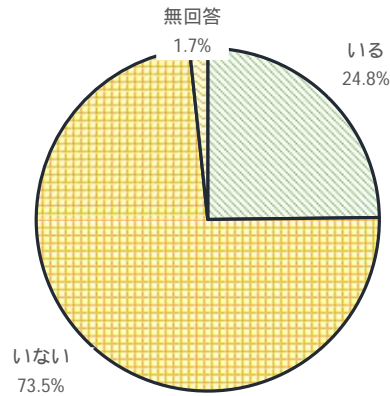




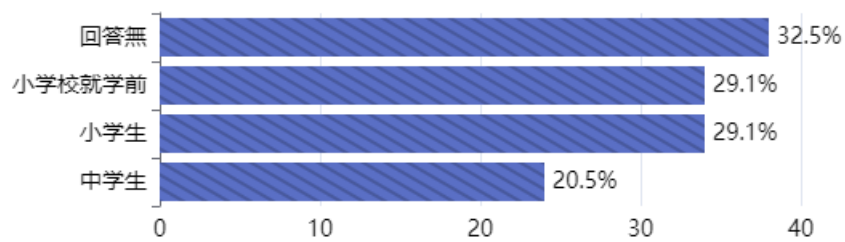
- 【全体的傾向】 「感じる」(22.9%)、「どちらかといえば感じる」(52.5%)を合わせると75.4%の方が子育てしやすいまちと感じている。
- 【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「30歳代」が最も多く、84.8%となっている。最も少ないのは「70歳以上」で64.2%となっている。
- 【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「10年以上」が最も多く、77.0%となっている。最も少ないのは「1年未満」で64.7%となっている。
- 【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「焼野地域」が最も多く、92.3%となっている。

問 13 あなたの世帯に現在、中学生以下のお子さまはいらっしゃいますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 いる お子さまは、次のどれにあてはまりますか。(いくつでも選んでください) (小学校就学前・小学生・中学生)(問14へ)	117	24.8%
2 いない (問17へ)	347	73.5%
回答無	8	1.7%
合計	472	100%



選択肢	件数	割合
小学校就学前	34	29.1%
小学生	34	29.1%
中学生	24	20.5%
回答無	38	32.5%
合計	117	100%

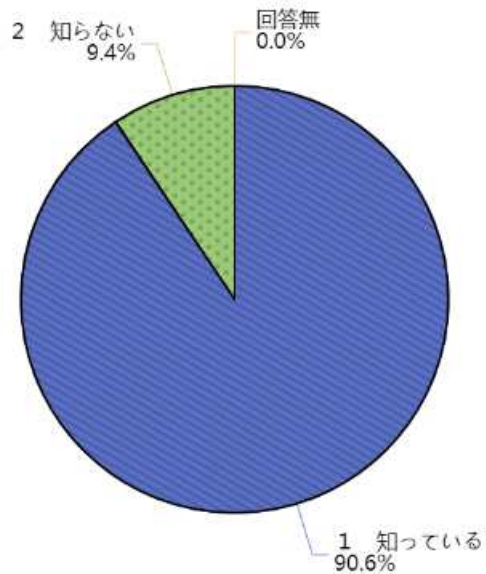


【全体的傾向】 「いる」と回答した割合は24.8%となっている。

問 14 (問 13 で「1 いる」と回答された方へ)

区役所、子育て支援センター、子ども・子育てプラザ、幼稚園、保育所などで子育て相談ができることを知っていますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 知っている	106	90.6%
2 知らない	11	9.4%
回答無	0	0.0%
合計	117	100%



【全体的傾向】 「知っている」(90.6%)と、約9割の方が関係施設などで子育て相談ができることを知っている。

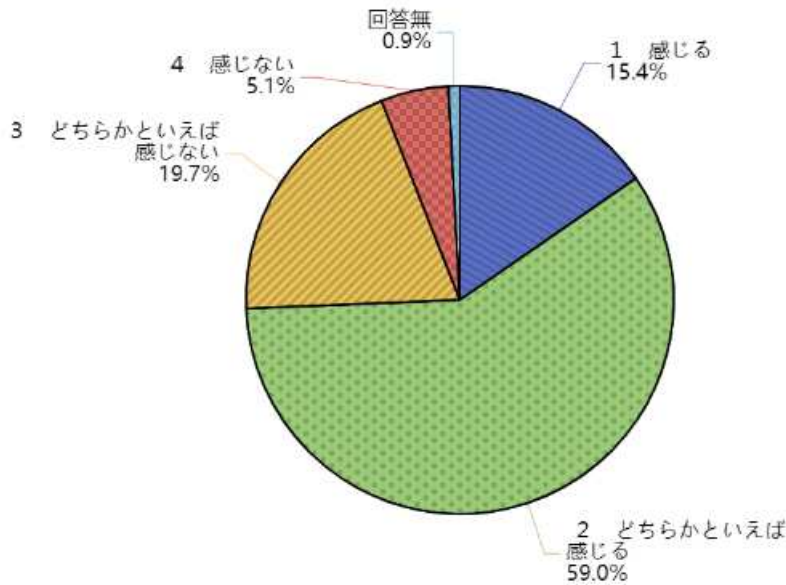
【年齢別傾向】 「知っている」と回答した割合を年齢別にみると、「50歳代」が最も少なく、81.8%となっている。

【居住年数別傾向】 「知っている」と回答した割合を居住年数別にみると、「10年以上」が最も少なく、87.8%となっている。

問 15 (問 13 で「1 いる」と回答された方へ)

あなたは、子育てに関する必要な情報を入手できていると感じていますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 感じる	18	15.4%
2 どちらかといえば感じる	69	59.0%
3 どちらかといえば感じない	23	19.7%
4 感じない	6	5.1%
回答無	1	0.9%
合計	117	100%



【全体的傾向】 「感じる」(15.4%)、「どちらかといえば感じる」(59.0%)を合わせると74.4%の方が子育てに関する必要な情報を入手できていると感じている。

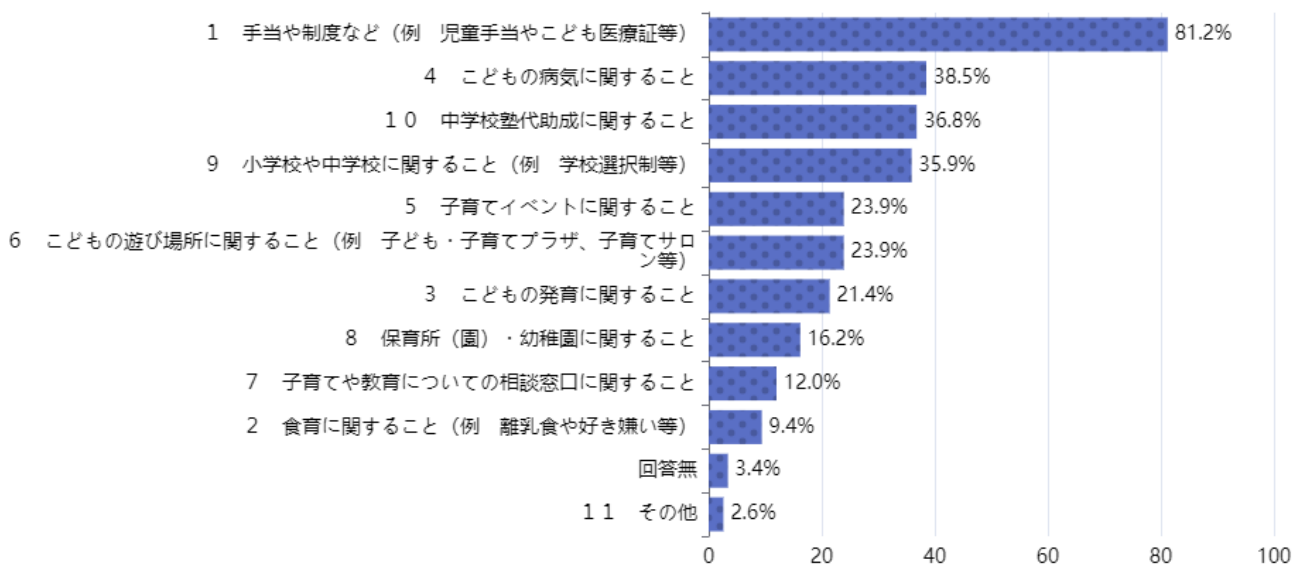
【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「30歳未満」では100%、「30歳代」が82.0%などとなっている。

【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「10年以上」は70.3%となっている。

問 16 (問 13 で「1 いる」と回答された方へ)

鶴見区では、区広報紙「広報つみ」や SNS (フェイスブック、ツイッター) を活用し、子育てに関するさまざまな情報発信を行っています。あなたは子育てに関する情報で充実してほしいものは何ですか。(いくつかでも選んでください)

選択肢	件数	割合
1 手当や制度など(例 児童手当や子ども医療証等)	95	81.2%
2 食育に関すること(例 離乳食や好き嫌い等)	11	9.4%
3 こどもの発育に関すること	25	21.4%
4 こどもの病気に関すること	45	38.5%
5 子育てイベントに関すること	28	23.9%
6 こどもの遊び場所に関すること(例 子ども・子育てプラザ、子育てサロン等)	28	23.9%
7 子育てや教育についての相談窓口に関すること	14	12.0%
8 保育所(園)・幼稚園に関すること	19	16.2%
9 小学校や中学校に関すること(例 学校選択制等)	42	35.9%
10 中学校塾代助成に関すること	43	36.8%
11 その他	3	2.6%
回答無	4	3.4%
合計	117	100%



【全体的傾向】 「手当や制度など」が 81.2%と最も多く、次いで「こどもの病気に関すること」が 38.5%、「中学校塾代助成に関すること」が 36.8%などとなっている。

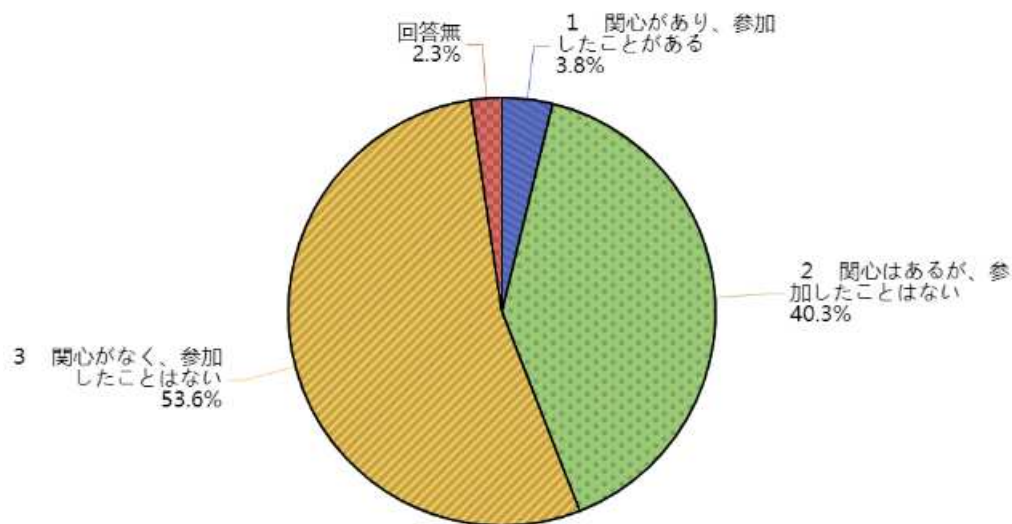
【年齢別傾向】 すべての年代で「手当や制度など」が最も多く、「30歳未満」では 100%となっている。

【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「手当や制度など」が最も多い。

#### 4. まなびを通じたつながりづくりについて

問 17 鶴見区では、「人権啓発推進セミナー」「ヒューマンシアター」「校下別人権学習会」「人権啓発イベント」「人材育成講座」「街頭啓発」などの人権教育・啓発の取組みを行っています。  
あなたはこれらの取組みに参加したり、地域で人権学習の開催や啓発活動に関わったことがありますか。  
(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 関心があり、参加したことがある	18	3.8%
2 関心はあるが、参加したことはない	190	40.3%
3 関心がなく、参加したことはない	253	53.6%
回答無	11	2.3%
合計	472	100%



【全体的傾向】 「関心があり、参加したことがある」(3.8%)、「関心はあるが、参加したことはない」(40.3%)を合わせると44.1%の方が人権教育・啓発等の取組みに関心がある。

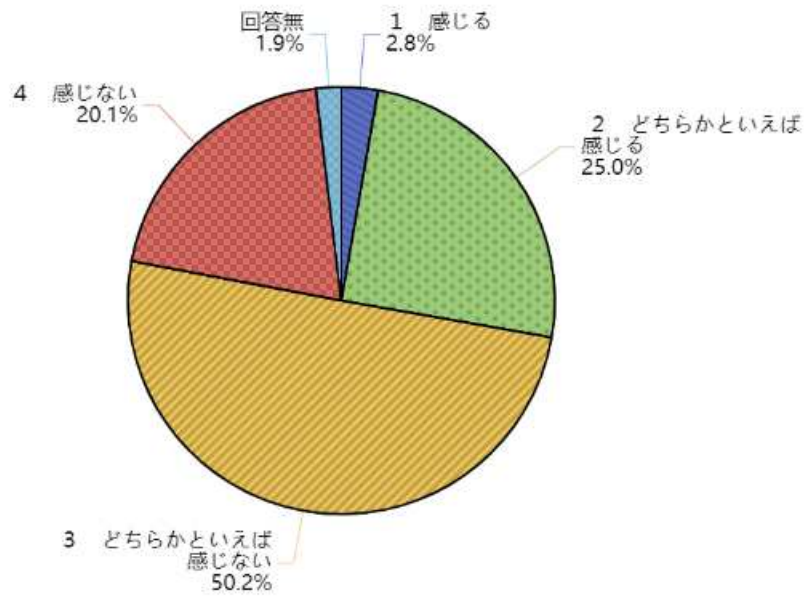
【年齢別傾向】 「60歳代未満」では「関心がなく、参加したことはない」と回答した割合が最も多く、「60歳代」及び「70歳以上」では「関心はあるが、参加したことはない」と回答した割合が最も多い。

【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「関心がなく、参加したことはない」と回答した割合が最も多く、「5年以上10年未満」は61.2%と最も多い。

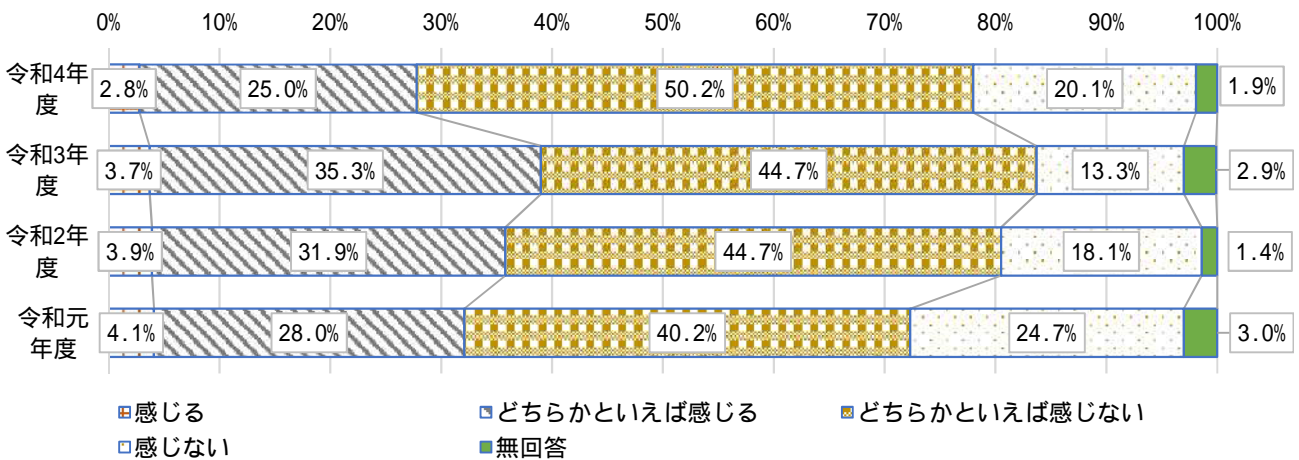
【地域別傾向】 「鶴見地域」と「榎本地域」では「関心はあるが、参加したことはない」と回答した割合が最も多く、その他の地域では「関心がなく、参加したことはない」と回答した割合が最も多い。

問 18 あなたは鶴見区で実施している取組みを通して、「一人ひとりが互いに認め合い、受け容れ、ともに生きる」人権尊重のまちづくりが進んでいると感じますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 感じる	13	2.8%
2 どちらかといえば感じる	118	25.0%
3 どちらかといえば感じない	237	50.2%
4 感じない	95	20.1%
回答無	9	1.9%
合計	472	100%



【前回等調査との比較】

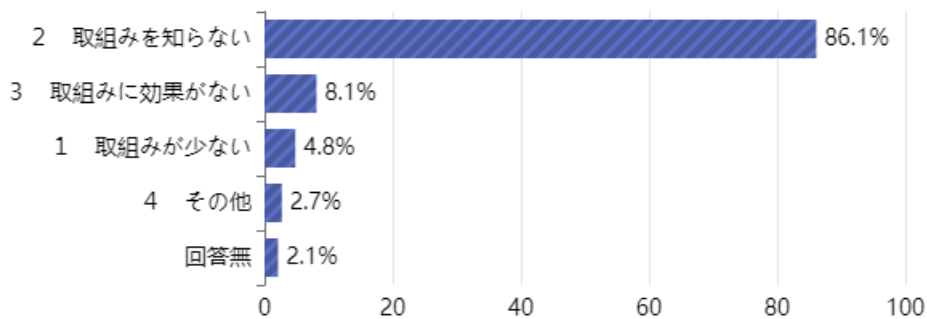


- 【全体的傾向】 「感じる」(2.8%)、「どちらかといえば感じる」(25.0%)を合わせると27.8%の方が人権尊重のまちづくりが進んでいると感じている。
- 【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「30歳未満」が最も多く、32.5%となっている。最も少ないのは「40歳代」で23.7%となっている。
- 【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「10年以上」が最も多く、29.8%となっている。最も少ないのは「1年以上5年未満」で16.7%となっている。
- 【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「焼野地域」が最も多く、38.5%となっている。



問 19 (問 18 で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ)  
 人権尊重のまちづくりが進んでいると感じない理由は何ですか。  
 (いくつでも選んでください)

選択肢	件数	割合
1 取組みが少ない	16	4.8%
2 取組みを知らない	286	86.1%
3 取組みに効果がない	27	8.1%
4 その他	9	2.7%
回答無	7	2.1%
合計	332	100%



【全体的傾向】 「取組みを知らない」と回答した割合が最も多く、86.1%となっている。

【年齢別傾向】 すべての年代で「取組みを知らない」と回答した割合が最も多い。

【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「取組みを知らない」と回答した割合が最も多い。

「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・興味がない
- ・機会がない
- ・時間がない
- ・人権尊重の意味を理解している人が少ない
- ・取組みがどんなことで、どう区民の生活に反映されているのか感じ取れない
- ・全ての世代に浸透しているとは感じない

問 20 鶴見区では、「生涯学習ルーム」「生涯学習ルームフェスティバル」「生涯学習セミナー」「おもてなし茶会」「生涯学習一日体験 学び舎つるみ」「家庭教育支援講座」「はぐみネット」などの生涯学習の取組みを行っています。  
あなたはこれらの取組みや、地域における子どもの健全育成のボランティアなどに参加したことがありますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 関心があり、参加したことがある	26	5.5%
2 関心はあるが、参加したことはない	197	41.7%
3 関心がなく、参加したことはない	230	48.7%
回答無	19	4.0%
合計	472	100%



【全体的傾向】 「関心があり、参加したことがある」（5.5%）、「関心はあるが、参加したことはない」（41.7%）を合わせると47.2%の方が生涯学習等の取組みに関心がある。

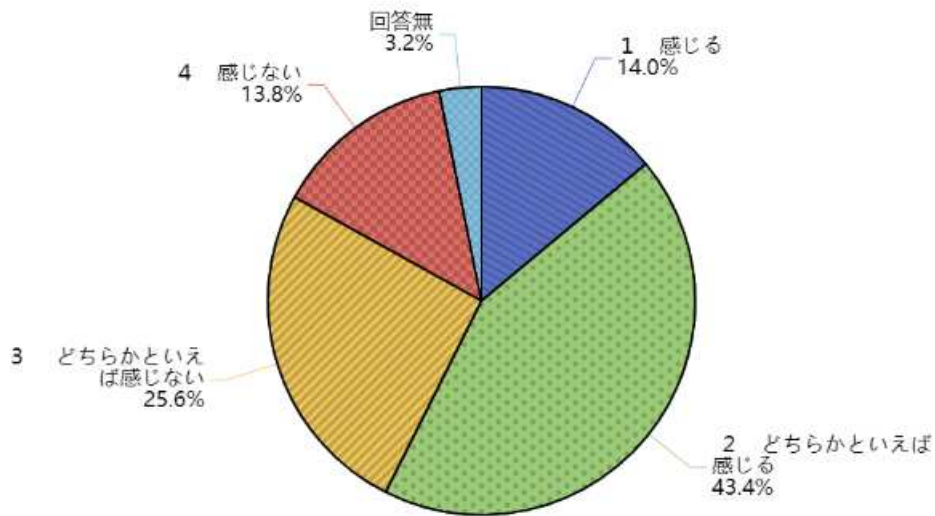
【年齢別傾向】 「50歳代未満」では「関心がなく、参加したことはない」と回答した割合が最も多く、「50歳代」、「60歳代」及び「70歳以上」では「関心はあるが、参加したことはない」と回答した割合が最も多い。

【居住年数別傾向】 「1年未満」では「関心はあるが、参加したことはない」と回答した割合が最も多く、その他の居住年数では「関心がなく、参加したことはない」と回答した割合が最も多い。

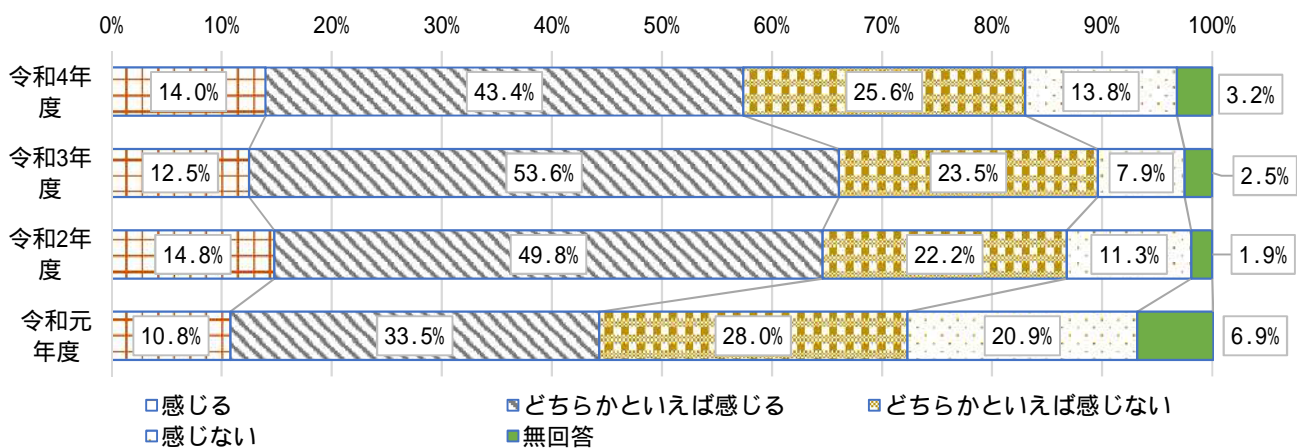
【地域別傾向】 「関心があり、参加したことがある」又は「関心はあるが、参加したことはない」と回答した割合が最も多い地域は「焼野地域」で76.9%となっている。

問 21 あなたは、生涯学習の取組みや地域ボランティア活動などによるまなびを通して、人との関わりやつながりができると感じますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 感じる	66	14.0%
2 どちらかといえば感じる	205	43.4%
3 どちらかといえば感じない	121	25.6%
4 感じない	65	13.8%
回答無	15	3.2%
合計	472	100%



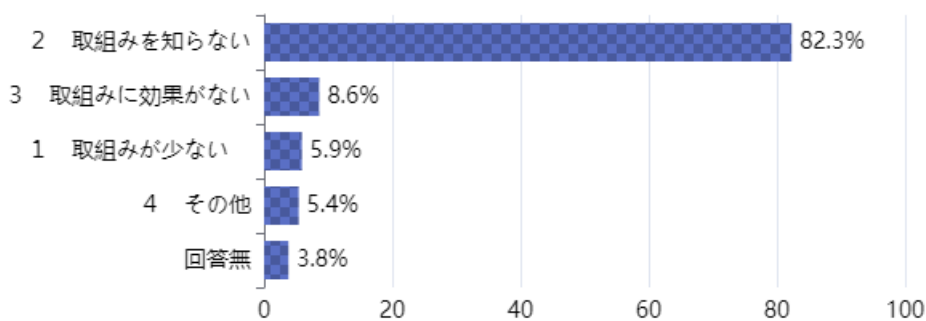
【前回等調査との比較】



- 【全体的傾向】 「感じる」(14.0%)、「どちらかといえば感じる」(43.4%)を合わせると57.4%の方が生涯学習の取組みなどによるまなびを通して、人との関わりやつながりができると感じている。
- 【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「50歳代」が最も多く、61.2%となっている。
- 【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「1年未満」が最も多く、76.5%となっている。
- 【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「焼野地域」が最も多く、92.3%となっている。

問 22 (問 21 で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ)  
 まなびを通して人との関わりやつながりができると感じない理由は何ですか。  
 (いくつか選んでください)

選択肢	件数	割合
1 取組みが少ない	11	5.9%
2 取組みを知らない	153	82.3%
3 取組みに効果がない	16	8.6%
4 その他	10	5.4%
回答無	7	3.8%
合計	186	100%



【全体的傾向】 「取組みを知らない」と回答した割合が最も多く、82.3%となっている。

【年齢別傾向】 すべての年代で「取組みを知らない」と回答した割合が最も多い。

【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「取組みを知らない」と回答した割合が最も多い。

「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・関心がない
- ・時間がない
- ・自身の意識の問題
- ・区役所が遠い。(学校、公民館、スーパーの駐車場などで開催してほしい。)
- ・古くからの参加者同士のつながりは強化されていると思うが、新たな参加者に対する排他性を感じることもある。

## 5 . 鶴見区全般について

問 23 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。

### 【広報に関すること】

- 広報の文字が小さいので大きくする。
- 種々の取組をもっと判りやすく PR をする。
- コミュニティの活用、広報の充実
- 区民全員にアプリもしくはメルマガ配信

### 【子育てに関すること】

- 物事の良し悪しを伝える映画やコトで子供達に伝えるようなイベントを学校単位でする。
- 多胎児育児の無料などの育児支援
- 小学校の集団登校
- 各小に統一アンケートをとったり口コミをまとめる
- ベーシックインカム、子供や子育て世帯への手当を厚くする。
- 体操教室、こども館の充実
- 小中学生、その保護者、介護施設や障がい者施設への訪問活動
- 小学生、中学生の倶楽部活動の成果発表会や展示会、試合の日程や結果の回覧
- 小児科専門病院の誘致
- 発達障がい児の支援
- 子育て助成金の充実。子ども食堂をもっと身近に設置

### 【高齢者に関すること】

- 高齢者や自動の見守りネットワークの充実
- 介護デイサービスの充実

### 【防犯に関すること】

- 夜の公園などパトロールの強化
- みまもり隊の充実
- 子供たちが安心して遊べる施設。警察と連携したまちづくり
- 防犯パトロール（夜間の見回り、火の用心）登下校の見守りの強化。
- 街灯や防犯カメラの増設
- 街灯の L E D 化と街灯の増設

【災害に関すること】

- 災害時の強化対策
- 地域防災訓練の実施

【交通マナーに関すること】

- 交通公園（安全に自転車練習ができる場）設置。
- 道路のバリアフリー化、視覚障がい者用のブロック等の増設、
- カーブミラーの設置
- 住宅地の車の速度取締強化、植木などの手入れ、保護猫活動
- 歩道の点検
- 自転車専用道路の設置
- 自転車交通マナーの向上
- 子どもの自転車教室（小～高校生、大人も）
- 歩道の整備、自転車の交通マナー向上のための取組

【鶴見緑地に関すること】

- 鶴見緑地公園の整備（売店-カフェの誘致や国際庭園のリニューアルなど）
- 鶴見緑地の活性化
- 鶴見緑地を利用したイベント。
- 大きい公園の設置
- 鶴見緑地以外でも四季を感じられる森林の整備（桜ロード、紅葉並木など）

【その他】

- 民生委員の個別訪問
- 投資の講座など開催
- コロナワクチン接種会場の再開
- 放出駅前で借りたり、返したりできる駅前自動図書貸し出し返却コーナーを設置
- 図書館の自習室の増設
- 道路の段差の解消（車道から歩道に上がる時など）アスファルトのくぼみの整備（自転車のタイヤがはまる）
- 外国人へのサポートや交流会の開催
- 声掛け運動
- 映画館の誘致
- 総合病院の新設
- 公共施設の環境整備
- 地域参加型のマルシェや屋台、フリーマーケットなどの規模を縮小して開催。
- 福祉活動の活動をコンビニやスーパーで掲示する。
- 誰もが集える居場所作り
- 身近な清掃活動

# 第1回 鶴見区民アンケート

- 質問ごとに該当する答えを選んで、○印を付けてください。
  - 「その他」( ) について、具体的な内容を記入してください。
- 貴重なお時間を頂戴することとなりますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

## 1. 鶴見区の魅力などについて

問1 鶴見区では、区の歴史や魅力の発見・発信や賑わいの創出を図るため、幅広い世代のみなさまに区への愛着を深めていただく事業に取り組んでいます。あなたは、次の「イベント・事業の例」に掲げる取組み全般について、魅力ある取組みだと感じますか。(1つ選んでください)

- 1 感じる
- 2 どちらかといえば感じる
- 3 どちらかといえば感じない
- 4 感じない

### イベント・事業の例



令和4年度「つる魅力発見」  
令和4年7月～8月



第6回「つる魅力発見」  
令和4年10月～12月



鶴見区鶴見公園イベント  
「つる王国」  
令和2年11月～令和3年1月  
【イベント内容は毎年異なります。】



鶴見区マスコットキャラクター「つるりっふ」による企画 (毎年)



冊子「鶴見「つる魅力」」  
(毎年)



**問2** 鶴見区ではSDGsの周知・広報に取り組んでいます。家庭でできる身近なSDGsもありますが、あなたは、日頃から意識してSDGsに取り組んでいますか。(1つ選んでください)

※SDGsとは

未来のために地球上のさまざまな問題の解決をめざす、世界共通の17の目標のことで、日本語では「持続可能な開発目標」と呼ばれています。2030年までに世界中の国がそれぞれ達成することをめざしています。

【SDGsに関連する取組例】

- ・ごみの分別をきちんとする
- ・買い替える際は、省エネ型の機種や電球を選択する
- ・水や電気の無駄使いを減らす
- ・冷蔵庫を確認し、食品ロスを減らす努力をする
- ・油分を拭き取ってから食器を洗う
- ・なるべく地元産の食材を買う(地産地消) など

- 1 意識して取り組んでいる (⇒問4へ)
- 2 意識して取り組んでいない (⇒問3へ)



(問2で「2 意識して取り組んでいない」と回答された方へ)

**問3** SDGsに意識して取り組んでいない理由は、なぜですか。(1つ選んでください)

- 1 SDGsを知らない
- 2 SDGsは聞いたことあるが、何から取組めばよいか分からない
- 3 SDGsは知っているが、日本にはあまり関係がない
- 4 その他 ( )

**問4** 「2025年日本国際博覧会(以下「大阪・関西万博」という。)」が、大阪市の夢洲で令和7年4月13日～10月13日まで開催されます。

あなたは、「大阪・関西万博」に関心がありますか。(1つ選んでください)

- 1 関心がある (⇒問6へ)
- 2 関心がない (⇒問5へ)

(問4で「2 関心がない」と回答された方へ)

**問5** 「大阪・関西万博」に関心がない理由はなんですか。(1つ選んでください)

- 1 「万博」自体を知らない
- 2 大阪で開催されることを知らない
- 3 まだパビリオン等の詳細が未定だから
- 4 万博のテーマが分からない
- 5 その他 ( )

問6 あなたは、鶴見区が花や緑あふれるまちと感じますか。

(1つ選んでください)

- 1 感じる
- 2 どちらかといえば感じる
- 3 どちらかといえば感じない
- 4 感じない



## 2. 地域福祉の推進について

問7 災害時に限らず日常生活の中で「お元気ですか？」や「何かお困りですか？」など、住民同士の「声かけ」「見守り」「支え合い」が行われていると感じますか。

(1つ選んでください)

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1 感じる          | 2 どちらかといえば感じる |
| 3 どちらかといえば感じない | 4 感じない        |

問8 あなたは、現在ボランティア活動をしていますか。または、ボランティア活動してみたいと思っていますか。(1つ選んでください)

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1 現在している  | 2 活動したことがある |
| 3 今後してみたい | 4 興味がない     |



問9 鶴見区では、電球の交換や庭の草むしり、外出時の付き添いなど、介護保険や障がい福祉サービスでは対象外とされている、日常生活のちょっとした困り事を地域住民同士の支え合いで補う、有償ボランティア制度「まちの支えあい活動通称『あいまち』」を実施しています。

あなたは『あいまち』を知っていますか。(1つ選んでください)

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1 知っている    | } (⇒問10へ) |
| 2 聞いたことがある |           |
| 3 知らない     | (⇒問11へ)   |

(問9で「1 知っている」「2 聞いたことがある」と回答された方へ)

問10 あなたは、「あいまち」に参加してボランティア活動をしようと思いませんか。

(1つ選んでください)

- |           |          |
|-----------|----------|
| 1 現在している  | 2 以前していた |
| 3 今後してみたい | 4 興味がない  |



問11 鶴見区では、認知症の方や家族をサポートするため「わたしのケアノート(※)」の配布や「障がい者とその家族を対象にした専門相談会」などの取組みを実施しています。また、身近な地域でのつながりの大切さを実感し、地域の課題を地域全体で解決するために、地域では「つなげ隊」や「あいまち」により高齢者や障がいのある方の見守り活動が行われています。

あなたは、地域で支援を必要としている人に必要な支援が行き届く地域社会になっていると感じますか。(1つ選んでください)

※「わたしのケアノート」とは

大阪市福祉局が発行している「わたしのケアノート」はもの忘れが気になるようになった方が、これからの人生をよりよく生きていくために、ご自身の考えを整理することをお手伝いするノートです。

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1 感じる          | 2 どちらかといえば感じる |
| 3 どちらかといえば感じない | 4 感じない        |

### 3. 子育てについて

問12 鶴見区は、子育てしやすいまちと感じますか。(1つ選んでください)

- |                |
|----------------|
| 1 感じる          |
| 2 どちらかといえば感じる  |
| 3 どちらかといえば感じない |
| 4 感じない         |



問13 あなたの世帯に現在、中学生以下のお子さまはいらっしゃいますか。

(1つ選んでください)

- |       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 1 いる  | ⇒ お子さまは、次のどれにあてはまりますか。(いくつでも選んでください) |
|       | (小学校就学前・小学生・中学生)(⇒問14へ)              |
| 2 いない | (⇒問17へ)                              |

(問 13 で「1 いる」と回答された方へ)

問 14 区役所、子育て支援センター、子ども・子育てプラザ、幼稚園、保育所などで子育て相談ができることを知っていますか。(1つ選んでください)

- 1 知っている
- 2 知らない

(問 13 で「1 いる」と回答された方へ)

問 15 あなたは、子育てに関する必要な情報を入手できていると感じていますか。

(1つ選んでください)

- 1 感じる
- 2 どちらかといえば感じる
- 3 どちらかといえば感じない
- 4 感じない



(問 13 で「1 いる」と回答された方へ)

問 16 鶴見区では、区広報紙「広報つるみ」や SNS (フェイスブック、ツイッター) を活用し、子育てに関するさまざまな情報発信を行っています。あなたは子育てに関する情報で充実してほしいものは何ですか。(いくつでも選んでください)

- 1 手当や制度など (例 児童手当やこども医療証等)
- 2 食育に関すること (例 離乳食や好き嫌い等)
- 3 こどもの発育に関すること
- 4 こどもの病気に関すること
- 5 子育てイベントに関すること
- 6 こどもの遊び場所に関すること (例 子ども・子育てプラザ、子育てサロン等)
- 7 子育てや教育についての相談窓口に関すること
- 8 保育所 (園) ・幼稚園に関すること
- 9 小学校や中学校に関すること (例 学校選択制等)
- 10 中学校塾代助成に関すること
- 11 その他 ( )



#### 4. まなびを通じたつながりづくりについて

問 17 鶴見区では、「人権啓発推進セミナー」「ヒューマンシアター」「校下別人権学習会」「人権啓発イベント」「人材育成講座」「街頭啓発」などの人権教育・啓発の取り組みを行っています。

あなたはこれらの取り組みに参加したり、地域で人権学習の開催や啓発活動に関わったことがありますか。(1つ選んでください)

- 1 関心があり、参加したことがある
- 2 関心はあるが、参加したことはない
- 3 関心がなく、参加したことはない

問 18 あなたは鶴見区で実施している取り組みを通して、「一人ひとりが互いに認め合い、受け容れ、ともに生きる」人権尊重のまちづくりが進んでいると感じますか。

(1つ選んでください)

- |                |   |          |
|----------------|---|----------|
| 1 感じる          | } | (⇒問 20へ) |
| 2 どちらかといえば感じる  |   |          |
| 3 どちらかといえば感じない | } | (⇒問 19へ) |
| 4 感じない         |   |          |



(問 18 で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ)

問 19 人権尊重のまちづくりが進んでいると感じない理由は何ですか。

(いくつでも選んでください)

- 1 取り組みが少ない
- 2 取り組みを知らない
- 3 取り組みに効果がない
- 4 その他 ( )

問 20 鶴見区では、「生涯学習ルーム」「生涯学習ルームフェスティバル」「生涯学習セミナー」「おもてなし茶会」「生涯学習一日体験 学び舎つるみ」「家庭教育支援講座」「はくくみネット」などの生涯学習の取組みを行っています。

あなたはこれらの取組みや、地域における子どもの健全育成のボランティアなどに参加したことがありますか。(1つ選んでください)

- 1 関心があり、参加したことがある
- 2 関心はあるが、参加したことはない
- 3 関心がなく、参加したことはない

問 21 あなたは、生涯学習の取組みや地域ボランティア活動などによるまなびを通して、人との関わりやつながりができると感じますか。(1つ選んでください)

- |                |             |
|----------------|-------------|
| 1 感じる          | } (⇒問 23 へ) |
| 2 どちらかといえば感じる  |             |
| 3 どちらかといえば感じない | } (⇒問 22 へ) |
| 4 感じない         |             |



(問 21 で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ)

問 22 まなびを通して人との関わりやつながりができると感じない理由は何ですか。

(いくつでも選んでください)

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1 取組みが少ない   | 2 取組みを知らない |
| 3 取組みに効果がない | 4 その他 ( )  |

## 5. 鶴見区全般について

問 23 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。

.....

.....

.....

.....

## 6. あなたご自身について

問 24 あなたの性別をお答えください。(1つ選んでください)

- 男             女             その他・回答したくない

問 25 あなたの年齢をお答えください。(1つ選んでください)

- 30歳未満             30～39歳             40～49歳  
 50～59歳             60～69歳             70歳以上

問 26 あなたのお住まいの地域をお答えください。(1つ選んでください)

- 緑地域 (みどり小学校区、新森小路小学校区)  
 鶴見北地域 (鶴見小学校区)             鶴見地域 (鶴見南小学校区)  
 櫻本地域 (櫻本小学校区)             今津地域 (今津小学校区)  
 茨田南地域 (茨田南小学校区)             茨田地域 (茨田小学校区)  
 茨田東地域 (茨田東小学校区)             茨田北地域 (茨田北小学校区)  
 焼野地域 (焼野小学校区)             茨田西地域 (茨田西小学校区)  
 横堤地域 (横堤小学校区)             分からない

問 27 あなたは鶴見区にお住まいになって何年ですか。(1つ選んでください)

- 1年未満             1年以上5年未満  
 5年以上10年未満             10年以上

————— ご協力ありがとうございました —————



お手数ですが、令和4年12月1日(木)までに、  
この用紙を同封の返送用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。